

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 株式会社小松製作所湘南工場 試験 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 平塚市四之宮3丁目25-1 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業専用地域・法22条区域・第4種高度地区 | 平均居住人員 | 70人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 0時間/年 |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2013年10月 予定 | 評価の実施日 | 2013年3月22日 |
| 敷地面積 | 12,126 m ² | 作成者 | 青木あすなる建設㈱ |
| 建築面積 | 1,236 m ² | 確認日 | 2013年3月29日 |
| 延床面積 | 2,312 m ² | 確認者 | 青木あすなる建設㈱ |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | |
|---|---|
| 総合 ルーバー庇やトップライト(光ダクト兼用)、LED照明設備、節水器具等の採用により省エネルギーに配慮した計画としている。また、空調をEHPからGHPにすることによって、年間CO ₂ 排出量の低減を図っている。 | その他 根伐りした土を敷地内に仮置きして埋戻しに使用することによって、搬出土の処分や新規の埋戻し土を減らす計画としている。 |
| Q1 室内環境 執務スペースに対しては、下階からの試験時の騒音を配慮してT-2サッシ、床スラブ厚さ200mm及び外壁材の選定をしている。又、温熱環境については、屋根、外壁の断熱性能に配慮し南面の開口部にはルーバー庇を設置し夏季の日射抑制を図っている。 | Q2 サービス性能 天井高さをCH=2,750とし快適性に配慮している。また、BCPの観点から耐震性能を1.25倍とし試験棟という機能性から事務室から試験室への転用を考慮した設定としている。 |
| LR1 エネルギー 自然エネルギーの直接利用としてトップライト及びトップライトを利用した光ダクトを設置している。LED照明設備による消費エネルギーの低減を図っている。 | LR2 資源・マテリアル 節水器具の使用や擬音装置による節水、リサイクル材の使用(床タイル)、再生可能部材の採用(OAフロア、可動間仕切)を行っている。 |
| | Q3 室外環境 (敷地内) まちなみや景観への配慮として、配置や高さ、色彩について既存工場建物との統一感をもった計画としている。 |
| | LR3 敷地外環境 条例に基づき雨水浸透施設を設置し地域インフラへの負荷抑制に配慮している。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される